

学術講演会「コロナ・ポストコロナ時代の社会課題の解決に向けて」を開催

(日本学術会議 北海道地区会議との共催)

【概要】

11月3日(水・祝) 13時30分から、学術講演会「コロナ・ポストコロナ時代の社会課題の解決に向けて 一記録・国際協力・情報技術一」をオンラインで開催します。

【趣旨】

新型コロナウイルス感染症は国内社会・国際社会の様々な問題を浮き彫りにし、過去から未来に至る人類社会の変容と課題を考える機会となりました。本学術講演会ではそれらの課題の中で、特に感染症に関する経験を未来に伝えるための記録作成・保存、世界保健機関(WHO)の活動など国際協力の在り方、感染症への有効な対応や行動変容を含むポストコロナ時代の社会課題解決に資する情報技術を取り上げ、議論します。

【日 程】 令和3年11月3日(水・祝) 13時30分～17時00分

【主 催】 日本学術会議北海道地区会議, 北海道大学

【対 象】 一般市民

【参加費】 無料

【言 語】 日本語

【プログラム】 講演

飯島 渉 (日本学術会議連携会員, 青山学院大学文学部教授)

「感染症をめぐる資料をどう残すか？」

詫摩佳代 (東京都立大学法学部教授)

「新型コロナとグローバルヘルスガバナンスの課題」※事前収録によるビデオ講演

川村秀憲 (北海道大学大学院情報科学研究院教授)

「ポストコロナ社会に向けて 一人工知能最前線と応用事例一」

萩田紀博 (日本学術会議第三部会員, 大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科教授)

「ポストコロナ社会の行動様式を変革するサイバネティックアバターとは？」

「ムーンショット目標1がめざす未来社会一」

総合討論

座長：宇山智彦

(日本学術会議第一部会員, 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授)

パネリスト：飯島 渉, 川村秀憲, 萩田紀博, 宮崎千穂 (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター非常勤研究員)

司会進行

大場みち子 (日本学術会議第三部会員, 公立ほこだて未来大学教授)

【申込方法】 11月1日(月)までにウェブにてお申し込みください。

URL: <https://hokudai.webex.com/hokudai/onstage/g.php?MTID=e6c34162111e39fcc2cc1ddf4b76140fb>



お問い合わせ先

北海道大学研究推進部研究振興企画課総務担当 係長 今野日出男（このひでお）

T E L 011-706-2155 F A X 011-706-4873 メール suishin@general.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

